

リトグラフの名品

ロートレックとシャガール

リトグラフとは？

リトグラフ (Lithograph) とは、水と油が反発する性質を利用した版画技法です。石版画ともいいます。平らな石や金属板の表面に油性の素材で絵を描き、描いていない部分に水を含ませることで、油性インクが絵の部分にだけ付着する仕組みになっています。その状態を紙に転写することで、手描きの線や質感をそのまま生かした表現が可能になります。鉛筆やクレヨンのような柔らかなタッチが再現できるため、多くの芸術家に親しまれてきました。



このリトグラフは、ロートレックが『ルヴュ・ブランシュ』という雑誌の宣伝のために作ったポスターです。羽根飾りがついた帽子に毛皮のケープ。暖かそうですが、さて、彼女はいま何をしているところでしょうか？ 颯爽と、軽やかに、、、
(答えは展示室にて)

主な展示資料

ロートレックの作品

- エグランティーヌ嬢一座 (ポスター)
- 54号室の女船客、船旅 (ポスター) 他

シャガールの作品

- アトリエの鳥 ●夏の夢 他

関連資料として“世界で最も美しい雑誌”といわれた美術文芸誌『ヴェルヴ』(パリ、1937年~1960年)も展示します。表紙になっているマティスやピカソのリトグラフをぜひご覧ください。

会期	2026.3.24(火)~6.27(土)
会場	聖徳大学8号館1階 企画展示ギャラリー
開館時間	9:00~17:00
休館日	日曜・祝日、学事日程による休業日 ※4/27(月)は休館いたします
観覧	無料

- 交通のご案内
JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・京成松戸線 松戸駅東口より徒歩5分
※学内に駐車場はありません。
- 学外の方の入構に際しては、記帳等のお手続きをお願いしています。

